

ESDユネスコ世界会議開会全体会合  
愛知県知事開催地代表挨拶

ララ・ハスナ モロッコ王国王女殿下、イリーナ・ボコバ ユネスコ事務局長閣下、ユネスコ加盟各国の閣僚の方々始め会議参加者のみなさま、ようこそあいち・なごやへお越しいただきました。

本日、皇太子殿下、同妃殿下の御臨席を仰ぎ、「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議」が、ここ愛知県名古屋市で開催されますことは、誠に光栄であり、開催地を代表して心から歓迎申し上げます。

愛知県では、「国連持続可能な開発のための教育の10年」がスタートした2005年、「自然の叡智」をテーマに「愛知万博」が開催され、国際博覧会史上初めて環境をメインテーマとした博覧会として、人類が自然にどう向き合っていくべきかというメッセージを全世界に向けて発信することができました。

また、その5年後の2010年には、生物多様性条約第10回締約国会議、いわゆるCOP10が、まさにこの会場で開催され、生物多様性の保全に関し今後10年間に世界が取るべき道筋である「愛知目標」が採択されました。

これら愛知万博やCOP10の成果を未来に継承し、持続可能な社会を実現するべく、2011年、本世界会議の誘致を表明し、地域をあげて、全力で準備に取り組んでまいりました。

ESDは、地球規模における様々な課題解決はもとより、身近な地域づくりにおいても極めて重要であり、当地域では、地域をあげてESDの推進に

取り組んでおります。特に次代を担う人づくりには力を入れており、ユネスコスクール加盟校の拡大などに取り組んでまいりました。ぜひ、あいち・なごやでの取組にも、注目をいただきたいと思います。

ここあいち・なごやは、自動車産業や航空宇宙産業を始め、日本一の産業集積があると同時に、農業もたいへん盛んで、花きの生産は日本一です。本日、この会場においても、あいちの花で皆様をお迎えしております。さらに、16世紀に日本を統一に導いた戦国武将、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑を輩出した歴史ある地であり、名古屋城や国宝犬山城、山車・からくりなど、貴重な史蹟や伝統文化も数多くございます。

こうしたあいち・なごやの多彩な魅力につきましては、イベントホールにてご紹介しております。併せて、エクスカージョンも多数ご用意しておりますので、ぜひご参加いただき、その魅力を直に感じていただければと思います。また、本日夜には、歓迎のレセプションを、当国際会議場にて開催いたします。会議期間を通して、精一杯おもてなしをしたいと思っておりますので、当地でのご滞在をお楽しみいただければ光栄でございます。

結びにあたりまして、本世界会議の開催に御尽力いただきましたユネスコや日本政府始め関係の皆様へ、深く感謝申し上げますとともに、本世界会議の成功と、今後のESDのさらなる推進をお祈り申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。